

開封しました ほほえみポスト

2015年7月～9月 小豆沢病院利用委員会



7月から9月の期間において、5通のご投書をいただきました。ありがとうございました

(同じ趣旨のものはまとめさせていただいています)。

前回、4月から6月の期間も5通のご投書でしたので、同じ数になりました。

病院の利用において気になる点などございましたら、お気軽にご投書いただきますようお願いいたします。

なお、この内容につきましては、外来待合室のディスプレイで放映しているほか、小豆沢病院のホームページにも掲載しています。

ホームページでは、過去1年分の内容をご覧いただくことができます。

www.kenbun.or.jp

改善に関わる投書

外来受診をされた患者様のご家族より

家族のかかりつけ病院なので、いつも感謝しております。ありがとうございます。

本日は、娘の体調不良のために内科を受診しました。

そのさい、まことに申し訳ありませんが、診察室の呼出しの看護師さんの声が、まわりに響くほどの大きさであり、声のトーンも高く驚いてしまいました。

まわりには患者さんも多くいるわけですから、少しトーンを下げて呼んでいただけても、思った幸いです。

よろしくお願い申し上げます。

(回答)

大きな声で驚かせてしまうことになり、大変申し訳ございませんでした。

患者様のなかには高齢の方もいらっしゃることから、大きな声でお呼び出ししないと、気付いていただけない場面も見受けられます。

呼出しのあり方については、接遇改善やプライバシーへの配慮も含めて検討いたします。

ご評価をいただいた投書

板橋区健診で利用された方より

「板橋区健診の結果に対するコメントとアドバイスについて」健診結果を聞くためにお伺いしました。

対応していただいた女性の先生が大変親切で、いろいろと、ご相談にもものってくださいました。感謝、感謝です。

ありがとうございました。来年もよろしくお願いいたします。

入院された患者様より

いつも病人に対し、最大限の敬意と注意をはらっていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

入院された患者様のご家族より

本当に父がお世話になりまして、感謝いたしております。

1ヶ月くらいほとんど食べられない日が続き心配していました。

入院当初の頃は、「入院して大丈夫だろうか？」と心配して泣いた日もありましたが、看護師さんやリハビリの方々のおかげで、びっくりするくらい食べられるようになり、父が少しでも長く生きていけるようになると思うことができ、大変うれしく思いました。

3回の脳梗塞で体力の低下は当たり前だと思っておりますが、私の夢であった、父と一緒にお寿司を食べることが出来そうです。

健康友の会の会員の方より

先日、元小豆沢病院の職員であった看護師の方にお会いする機会があり、「懐かしい」と、感激のあまりに涙をこぼしていました。

お会いした場所は、他の大きな病院で、私が家族の受診に付き添いで訪れた時のことでした。

涙の理由についてお尋ねしたところ、

「小豆沢病院の職員はお互いに愛情があり、あたたかく、働きやすかった。他の病院で働いてみて、小豆沢病院で働けたことは、嬉しいことであったと、感じる事ができた。」

と述べられていました。

私も小豆沢病院で働かせていただき感謝していますが、私以外の方もそのように感じてくれたことを嬉しく思います。

